

# 1 学年シラバス 目次

学校シラバス	.....
1 学年（Ⅱコース）シラバス	.....
現代の国語	.....
言語文化	.....
歴史総合	.....
公共	.....
数学Ⅰ・A	.....
物理基礎	.....
化学基礎	.....
生物基礎	.....
体育	.....
保健	.....
音楽Ⅰ	.....
美術Ⅰ	.....
書道Ⅰ	.....
英語コミュニケーションⅠ	.....
論理・表現Ⅰ	.....
総合的な探究の時間	.....

## ◇年間行事計画

## II コース 1 学年

指導内容・行事		指導のねらい	
4月	II コース 1 年生オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛校心の涵養・生活習慣の確立</li> <li>・進路意識の高揚</li> <li>・生徒間、教員との信頼関係の構築</li> </ul>	
	校内オリエンテーション		
	二者面談		
		基礎学力到達度テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着、自己分析</li> </ul>
		進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解と目標設定</li> </ul>
		登校指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立</li> </ul>
		iPad 配布・説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシーの向上</li> </ul>
		防災避難・通報消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識の醸成</li> </ul>
		学級懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員—保護者の信頼関係の構築</li> </ul>
5月	校内体育大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな心身の育成</li> <li>・良好な人間関係の構築</li> </ul>	
	授業参観ウィーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報公開</li> <li>・家庭との連携強化</li> </ul>	
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己管理能力の育成</li> </ul>	
	1 学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的学習習慣の確立</li> <li>・既習事項の定着度の測定</li> </ul>	
	英検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・資格取得によるキャリアアップ</li> </ul>	
6月	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己管理能力の育成</li> </ul>	
	文化講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな感性の育成</li> <li>・広い視野の獲得</li> </ul>	
	数検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・資格取得によるキャリアアップ</li> </ul>	
	1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的学習習慣の確立</li> <li>・既習事項の定着度の測定</li> </ul>	
	アカシヤ祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解を深める</li> <li>・創造力、表現力の伸長</li> <li>・他者と協働する力を育む</li> </ul>	
	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・弱点、苦手分野の把握</li> <li>・学習計画の立案、課題設定</li> </ul>	
	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携</li> <li>・信頼関係の構築</li> <li>・現状の理解と目標の設定</li> </ul>	
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の伸長</li> <li>・学習習慣の確立</li> </ul>	

	勉強会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考力、表現力の伸長</li> <li>・既習事項の理解を深める</li> </ul>
8月	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の伸長</li> <li>・学習習慣の確立</li> </ul>
	大学探究プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の高揚を図る</li> <li>・自己理解を深める</li> </ul>
	全統模試	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・強み、弱みの把握</li> <li>・学習計画の立案</li> </ul>
	8時間耐久自学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立</li> <li>・集中力、忍耐力を育む</li> </ul>
9月	成果テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> </ul>
	進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望の確認</li> </ul>
	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識を高める</li> </ul>
	スタディサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・強み、弱みの把握</li> <li>・学習計画の立案</li> </ul>
	授業参観ウィーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報公開</li> <li>・家庭との連携強化</li> </ul>
	活動報告会（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力、プレゼン力の育成</li> <li>・異文化理解</li> </ul>
10月	2学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的、計画的学習への取り組み</li> <li>・学習活動の成果を測る</li> </ul>
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己管理能力の育成</li> </ul>
	芸術鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化、芸術への造詣を深める</li> </ul>
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・資格取得によるキャリアアップ</li> </ul>
11月	進路サポート（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の高揚を図る</li> <li>・自己理解を深める</li> </ul>
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己管理能力の育成</li> </ul>
11月	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・弱点、苦手分野の把握</li> <li>・学習計画の立案、課題設定</li> </ul>
	二者面談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文理選択に関する理解を深める</li> <li>・疑問点や不安を解消する</li> </ul>
12月	2学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的、計画的学習への取り組み</li> <li>・学習活動の成果を測る</li> </ul>
	冬期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の伸長</li> <li>・学習習慣の確立</li> </ul>
1月	成果テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・学習活動の成果を測る</li> </ul>

	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識を高める</li> </ul>
	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・弱点、苦手分野の把握</li> <li>・学習計画の立案、課題設定</li> </ul>
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・資格取得によるキャリアアップ</li> </ul>
2月	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己管理能力の育成</li> </ul>
	活動報告会（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力、プレゼン力の育成</li> </ul>
	Welcome program 準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画力の伸長</li> <li>・学年を越えた交流を深める</li> </ul>
	数検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得によるキャリアアップ</li> </ul>
3月	3学期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的、計画的学習への取り組み</li> <li>・学習活動の成果を測る</li> </ul>
	春季特別授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の伸長</li> <li>・学習習慣の確立</li> </ul>
	スタディサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着度を測る</li> <li>・強み、弱みの把握</li> <li>・学習計画の立案</li> </ul>

## 学校シラバス

### 校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

### 本年度の努力目標

- 1 奉仕と思いやりの心を持つ
- 2 新校舎を大切に学ぼう
- 3 対策をして楽しもう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育, 教科指導を計画的に推進し, 学力の定着と向上を図り, 生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 シラバスを作成し, 生徒・保護者へ提示する。</li> <li>2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し, 幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。</li> <li>3 卒業前の3年生に, 学外からの出前講座, 教員による校内講座を行い, 幅広い教養を身に付ける。</li> <li>4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。</li> </ol>
国際理解教育を推進し, グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ネイティブ教員によるTT授業で, 英語の4技能の育成を図る。</li> <li>2 課外講座で, 英会話講座を実施して語学力の育成を図る。</li> <li>3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に, ケンブリッジ大学・オーストラリア海外語学研修を実施する。(令和4年度は派遣中止)</li> </ol>
自主的・主体的な学習への取り組みを通して, 社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自学室・自習室・サポート室を活用し, 生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。</li> <li>2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。</li> <li>3 基礎学力到達度テスト対策に, 春期特別授業を実施する。</li> <li>4 大学進学に向けて, 各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。</li> <li>5 図書館を利用して, 生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。</li> </ol>
学校行事や課外活動を通して, 人間的成長を促し, 円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 修学旅行を通して, 団体行動や平和について学習する。</li> <li>2 部活動を通して, 心身を鍛え自主性や協調性を育成する。</li> <li>3 文化祭などの学校行事を通して, 自主性や創造性, 協働性を身に付けるとともに, 仲間との達成感を共有する。</li> <li>4 芸術鑑賞会を通して, 広く芸術に触れ, 親しむ心を育成する。</li> <li>5 身だしなみ向上週間の活動を通じて, 自律心を育成する。</li> </ol>
学校の安全管理を徹底するとともに, 安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校安全計画, 防災マニュアル(安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル)を実践する。</li> <li>2 火災や地震を想定した避難訓練, および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。</li> <li>3 地歴公民や保健体育の授業, ホームルーム活動を通じて, 安全や健康について学習する。</li> <li>4 交通安全教室, スマホ安全教室等を実施し, 生徒の危機管理意識を育成する。</li> </ol>

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
現代の国語	3	1	Ⅱコース

教科書名 高等学校 現代の国語 (数研)  
 副教材名 三訂版 プロGRESS 現代文総演習 基本編 (尚文)  
論理力ワークノート ネクスト (第一学習社)  
現代文練習帳 ことのは (いいずな)

### 1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。

(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1)ガイダンス ①授業の進め方 ②週課題, 小テスト  (2)『論理力ワークノート』 ①問題意識 ②対比, 類比	(1) ①予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する。 ②週課題や小テストの内容や提出方法について理解する。 (2)・(3) ① 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。
	5	(3)「対比の構造」(教科書)  【一学期中間試験】	② 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。
	6	(1)『論理力ワークノート』 ①具体・抽象  (2)「具体と抽象」(教科書)	(2) ① 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ②情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めて使う。

	7	(3)「表現の実践」(教科書)  【一学期期末試験】	(3) ①目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 ②話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。
【課題・提出物】授業ノート・週課題			
【1学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	(1)『論理力ワークノート』 ①原因・結果 ②主張・理由・具体例 ③演繹・帰納・アブダクション	(2) ① 文, 話, 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 ② 推論の仕方を理解して使う。
	10	(2)「一般論と主張」(教科書)  【二学期中間試験】	
	11	(1)『論理力ワークノート』 ①総合演習第一講  (2)「比較する」(教科書)	(1)・(2)・(3) ①実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
	12	(3)「視野を広げる」(教科書)  【二学期期末試験】	②比喩, 例示, 言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解して使う。
【課題・提出物】授業ノート・週課題・読書感想文			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	(1)『論理力ワークノート』 ①総合演習第二講 ②総合演習第三講	(1)・(2) ①実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。

2	(2)「思考を深める」(教科書)	②言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。
	(3)「実用の文章」(教科書)	(3)
3	【三学期期末試験】	① 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。 ② 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。
	【課題・提出物】 授業ノート・週課題	
【3学期の評価方法】 定期試験の素点×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%		
【年間の学習状況の評価方法】 年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%		

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

### 4 学習サポート(事前・事後学習等について)

予習・復習を前提として授業を行う。語句の意味調べや段落分け等を各自で行い、授業に臨む。論理的な文章においては、文章構造に着目し、文や段落相互の関係を正しく理解することを心掛ける。



科目	単位数	対象学年	対象クラス
言語文化	3	1	Ⅱコース

教科書名 高等学校 言語文化 (数研)  
 副教材名 三訂版 プロGRESS 現代文総演習 基本編 (尚文)  
三訂版 プロGRESS 古典総演習 基本編 (尚文)  
新明説総合古典文法 (尚文) 精選漢文 (尚文)  
基本の整理 精選漢文基本練習ノート (尚文)  
古典攻略マストアイテム76 (桐原) 解法古文単語350 (数研)  
古典文法 助動詞徹底ワーク (尚文)

### 1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1)ガイダンス ①授業の進め方 ②週課題, 小テスト	(1) ①予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する。 ②週課題や小テストの内容や提出方法について理解する。
	5	(2)古典文法入門  (3)用言(動詞)  (4)小説(ワークブック)  【一学期中間試験】	(2)・(3) ①現代語と古典語の違いについて理解する ②歴史的仮名遣い・品詞・活用の種類と活用形等について理解する。  (4) 小説の基本的な読み方について理解する。

	6	(1)用言(動詞・形容詞・形容動詞)  (2)助動詞	(1)・(2) ①用言の活用の種類と活用表等について理解する。 ②助動詞の文法的意味と活用表, 接続の仕方等について理解する。
	7	(3)小説(ワークブック)  【一学期期末試験】	(3) ① 小説の基本的な読み方について理解する。
【課題・提出物】 授業ノート・週課題			
【1学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	(1)助動詞	(1) ①助動詞の文法的意味と活用表, 接続の仕方等について理解する。
	10	(2)「古文の世界を楽しむ」(教科書)  (3)「受け継がれる古文」(教科書)  【二学期中間試験】	(2) ① 古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解する。 (3) ①文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解する。 ② 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深める。
	11	(1)「現代にも生きる教え」(教科書)  (2)「和歌による心の交流」(教科書)  (3)漢文入門(教科書)  (4)「詩歌の系譜」(教科書)	(1)・(2) ①文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉える。 (3) ①我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。
	12	【二学期期末試験】	(4) ①我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにする。

【課題・提出物】授業ノート・週課題・創作(俳句・短歌・詩・小説)			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			
月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	1  2	(1)「仮名日記文学の原点」(教科書)  (2)「故事と成語」(教科書)	(1) ①作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。
	2  3	(3)「漢詩のことば」(教科書)  (4)「受け継がれる漢文」(教科書)	(2)・(3) ①古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
	3	【三学期中間試験】	(4) ①我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
【課題・提出物】授業ノート・週課題			
【3学期の評価方法】 定期試験の素点×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			
【年間の学習状況の評価方法】 年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト)×20%			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

予習・復習を前提として授業を行います。古典の文章読解においては、文法事項の確認・現代語訳を各自で行い、授業に臨んでください。

古文においては、文法事項を理解することはもちろんですが、それをいかに用いて文章を読むことができるかが大切です。

漢文においては、漢字の意味や句形を理解するとともに、文法構造に着目して学びましょう。

近現代の文学においては、作品の成立した背景を知るとともに、文章における表現を適切に読み取ることができるよう心掛けてください。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
歴史総合	2	1学年	IIコース

教科書名 歴史総合 近代から現代へ (山川出版社)

副教材名 山川歴史総合用語解説 (山川出版社)

1 科目目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を学び、課題を追求・解決をすることにより、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生きることができる資質、能力を身につける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ガイダンス 帝国主義と列強の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次産業革命の概要をまとめ、それがいかに世界を変化させていったのかを理解する。</li> <li>・ドイツとイギリスの対立を軸として、国際的に複雑な同盟・協商関係が形成されていった過程を考察する。</li> <li>・総力戦による社会の変化を理解する。</li> <li>・ロシアの内戦と日本のシベリア出兵の意図を理解する。</li> <li>・パリ講和会議とヴェルサイユ条約の内容を整理し、国際連盟の限界を理解する。</li> <li>・第1次世界大戦後に民族運動が活発化した要因を理解し、その影響を考察する。</li> </ul>
	5	世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響 1学期中間試験	
	6	第1次世界大戦 ロシア革命 <b>【探求：欧米諸国や日本は、なぜロシア革命を脅威に感じたのか】</b> パリ講和会議と国際連盟の成立 1920年代の西ヨーロッパ諸国	
	7	アジア・アフリカの民族運動 1学期期末試験	
【課題・提出物】・授業ノート・プリントの点検			
【1学期の評価方法】			
① 定期試験の成績(80%)			
・知識・理解の確認とともに、歴史的な思考力を問う論述問題も出題する。			
② 学習態度等の平常点			
・授業時などの学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。			
・授業ノート・プリントの状況进行评估する。			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	大量消費社会と市民生活の変容 社会労働運動の進展と大衆の政治参加 世界恐慌の発生と各国の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカで大量消費社会が成立した要因をふまえ、大量消費社会の特徴を理解する。</li> <li>・恐慌が世界に波及した要因を追求し、その後の世界に与えた影響を理解する。</li> <li>・ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を考察する。</li> </ul>
	10	ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州 2学期中間試験	

<p>11</p> <p>12</p>	<p>日中戦争と国内外の動き 第2次世界大戦と太平洋戦争</p> <p><b>【探求：ヨーロッパで始まった2次大戦にアメリカと日本はどのように関与したか】</b></p> <p>新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化</p> <p>占領政策の転換と日本の独立 集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興</p> <p><b>【探求：西ヨーロッパで地域統合がすすめられたのはなぜだろうか】</b></p> <p>第三世界の連携と試練 二学期期末試験 55年体制の成立 日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中戦争がおこった背景を理解し、その後の国際社会に与えた影響を考察する。</li> <li>・第2次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。</li> <li>・連合国による日本の占領方法や特徴について理解する。</li> <li>・イスラエルの成立にともなうパレスチナ地域の動向について考察する。</li> <li>・日本がどのように国際社会に復帰したかを考察する。</li> <li>・西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解する。</li> <li>・ソ連の雪解けと西側への影響を理解し、東ヨーロッパ世界の動揺や中ソ問題の悪化を理解する。</li> <li>・国際社会で第三世界が形成された背景と、その活動について理解する。</li> <li>・55年体制が成立した背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】・授業ノート・プリントの点検</b></p>		
<p><b>【2学期の評価方法】</b></p> <p>① 定期試験の成績 (80%) ・理解の確認とともに、歴史的な思考力を問う論述問題も出題する。</p> <p>② 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。 ・授業ノート・プリントの状況の評価する。</p>		
<p>3 学 期</p>	<p>月</p> <p>学習内容</p> <p>1</p> <p>冷戦構造のゆらぎ</p> <p><b>【探求：なぜ米ソは1970年代前半に、デタント政策を選択したのだろうか】</b></p> <p>2</p> <p>世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放 冷戦の終結と国際情勢 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化</p> <p>3</p> <p>国際社会のなかの日本 3学期期末試験</p>	<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム戦争の発生とその経過について理解する。</li> <li>・1970年代の世界経済転換の背景を理解する。</li> <li>・ゴルバチョフの新思考外交によって冷戦が終結し、東欧革命が発生した経過を理解する。</li> <li>・ペレストロイカと呼ばれる改革の過程を理解するとともに、改革の実施にもかかわらずソ連が崩壊した理由について考察する。</li> <li>・文革終了後の中国で、市場経済化がすすむ一方、民主化運動の弾圧や少数民族への統制で国際的非難を招いている状況を理解する。</li> <li>・21世紀の日本の政治の変化を考察する。</li> </ul>

<p>【課題・提出物】・授業ノートの点検</p>
<p>【3学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・理解の確認とともに、歴史的な思考力を問う論述問題も出題する。</li> </ul> <p>② 学習態度等の平常点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時などの学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。</li> <li>・授業ノート・プリントの状況进行评估する。</li> </ul>
<p>【年間の学習状況の評価方法】年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。</p>

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容を正確に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができる。</li> <li>・近現代の歴史の因果関係を、世界とその中の日本を相互的視野から解き明かすことができる。</li> </ul>	授業の様子 授業ノート 定期テスト 探求レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて考察するとともに、これを効果的に説明することができる。</li> </ul>	授業の様子 授業ノート 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史に興味・関心を持ち、主体的に授業に参加し、積極的に課題を追求・解決することができる。</li> <li>・多角的・多面的な考察と深い理解力を持ち、自国や他国の文化を尊重することができる。</li> </ul>	授業の様子 授業ノート 探求レポート

### 4 学習サポート(事前・事後学習等について)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、学習相談を実施するので、理解の難しい所があれば、早めに解決しましょう。</li> <li>・歴史に興味・関心を持ってほしい。授業中にお勧めの本の紹介もするので、是非読んでほしい。</li> </ul>
---

科目	単位数	対象学年	対象クラス
公共	2	1 学年	II コース

教科書名 高等学校 公共 ( 清水書院 )

副教材名 新 公共 要点ノート ( 啓隆社 ) テーマ別資料 公共 2022 (とうほう)

1 科目目標

- 「公共」とは、私たちが何をどう見るか、どう考えるかで現れてくる空間であり、事柄である。このように「公共」を考えれば、これまで、もっぱら「公共」という観念を独占してきた政府や地方自治体、国際機関等の活動を、私たちの日常生活と関わらせて、とらえ直していく力を養う。
- 思想は歴史的背景と前時代の課題を受けて成立するものであり、先哲の思想を学ぶことで人間とは何か、自分はどうかあるべきかを深く探求する。
- 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めることにより、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方、生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第1編 公共の扉をひらく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青年期とは、人生の中でどのように位置づけられているかの特徴を知り、この時期に求められている課題について考え、理解する。</li> <li>・ 哲学とはどのようなものであり、またどのように展開していったのか理解する。</li> <li>・ 宗教とは何だろうか。その教えと私たちの価値観とのつながりや違いについて考え、理解する。</li> </ul>
		第1章 公共的な空間をつくる私たち	
		1 私たちの人生と社会	
		2 青年期の心理と課題	
		3 哲学の始源と発展	
		4 一神教の教え	
		5 東洋の宗教と思想(1)(仏教)	
		6 東洋の宗教と思想(2)(儒教)	
	5	7 日本の風土と神仏への信仰	
		8 江戸時代の学問と近代化への歩み	
	6	1 学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共を形づくっている様々な要素は近代の西ヨーロッパに原型がある。西洋近代の始まりは、どのようなものであったか理解する。</li> </ul>
		第2章 公共的な空間における人間	
		1 義務論と功利主義	
		第3章 公共的な空間における基本原理	
		1 近代的な人間像の誕生(1)	
		2 近代的な人間像の誕生(2)	
3 国際社会と人間性(1)			
4 国際社会と人間性(2)			
7	5 国際社会と人間性(3)		
	6 公共性の復権と他者についての思考		
	1 学期期末試験		
	<p>【課題・提出物】</p> <p>定期試験後に授業ノート・ワークノート提出</p>		



<p><b>【1学期の評価方法】</b></p> <p>①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。</p> <p>②学習課題、および学習態度の平常点(20%以内)</p>		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	<p>第2編 基本的人権の尊重と法</p> <p>第1章 民主政治の原理</p> <p>9 1 近代国家と立憲主義</p> <p>2 日本国憲法の成立</p> <p>第2章 人権の尊重と日本国憲法</p> <p>10 1 日本国憲法の三原理と人権保障</p> <p>2 平和主義と国際社会</p> <p>3 平等権</p> <p>4 自由権</p> <p>5 社会権</p> <p>6 参政権の保障と国務請求権</p> <p>7 新しい人権</p> <p>8 グローバル化と国際人権</p> <p>2学期中間試験</p> <p>11 第3編 現代の民主政治と社会参画</p> <p>第1章 民主政治の成立と危機</p> <p>1 自由民主主義の成立と危機</p> <p>2 現代の自由民主主義と課題</p> <p>3 世論の形成と民主社会</p> <p>12 4 政治参加と主権者(有権者)</p> <p>5 選挙と政党</p> <p>第2章 日本の政治機構</p> <p>1 国会の役割としくみ</p> <p>2 内閣と行政機関</p> <p>3 裁判所の役割としくみ</p> <p>4 市民社会と司法参加</p> <p>5 地方自治と住民の生活</p> <p>2学期期末試験</p>	<p>・日本国憲法はどのような経緯で成立したか理解する。</p> <p>・日本国憲法の三原理は相互にどのような関連を持つのか理解する。</p> <p>・平和主義がどのように具体化されているか理解する。</p> <p>・人間が尊重されて生きていくために、憲法はどのような自由・平等等を保障しているか理解する。</p> <p>・政治に参加する権利として、憲法はどのような権利を保障しているか理解する。</p> <p>・国会が国権の最高機関であると憲法に規定されているが、実際には地位が低下していること、国会中心の政治を展開するために必要なことを考察する。</p> <p>・日本国憲法における議院内閣制の意義や、内閣と内閣総理大臣の権限について理解する。</p> <p>・裁判制度については、三審制のしくみや最高裁判所の地位と権限を理解し、裁判員制度についての理解を深める。</p>
<p><b>【課題・提出物】</b> 定期試験後に授業ノート・ワークノート提出</p>		
<p><b>【2学期の評価方法】</b></p> <p>①定期試験の成績：教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。</p> <p>②学習課題、および学習態度の平常点(20%以内)</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	第4編 現代の経済社会と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済をかたちづくる3つの部門の役割と機能について考察する。</li> <li>・市場機構によって解決できない問題など、具体例を通して理解する。</li> <li>・経済指標としての国民所得やGDP、および国民生活の豊かさを支えるフローとストックの意味を理解する。</li> <li>・金融に関する基礎知識及び、しくみを理解する。</li> <li>・マネーサプライと金融機関の意義を理解する。</li> <li>・財政のしくみや租税についての基礎知識を理解する。</li> <li>・資本主義経済のしくみとその特徴を理解する。</li> <li>・資本主義経済の発展と変容を、その矛盾を克服する試みとして登場した社会主義経済と比較しながら理解を深める。</li> </ul>
	2	第1章 私たちと経済活動	
	3	1 私たちと経済 2 仕事と社会 3 国民経済とGDP	
		第2章 経済社会のしくみと役割 1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 3 市場の限界 4 金融とそのはたらき 5 財政とそのはたらき 6 現代の企業 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性 3学期期末試験	
		【課題・提出物】 定期試験後に授業ノート・ワークノート提出	
		【3学期の評価方法】	
		①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。	
		②学習課題、および学習態度の平常点(20%以内)	
		【年間の学習状況の評価方法】	
		○総合評価は、学期末ごとに行う。総合成績には平常点が含まれる。	
		○平常点は以下を踏まえて、20%以内とする。	
		①授業に対する意欲と関心	
		②課題等への取り組み(宿題・レポート等)	
		③年数回のノート提出(板書事項・配布プリントの確認)	

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容を適切に理解し、教科者・用語集を読みこなすことができる。</li> <li>・授業で得た知識をもとに、社会において必要な表現力を導き出すことができる。</li> </ul>	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偏見を除き、公平・公正な立場から社会的判断を身につけることができる。</li> </ul>	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会に興味・関心を持ち、自ら進んで授業参加と、積極的な発言ができる。</li> </ul>	○授業の様子 ○授業ノート

### 4 学習サポート(事前・事後学習等について)

公共は時事問題などを例に挙げ、新聞やニュースで聞いたことのある内容も勉強し、社会を生き抜く必要な知識が身につくよう、サポートしていきたい。苦手意識を持たずに積極的な授業参加を期待するが、理解できなかったこと、疑問点があれば、どんどん質問に来てほしい。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅰ・数学A	6	1年生	Ⅱコース

教科書名 数学Ⅰ・A・Ⅱ

副教材名 Focus Gold ⅠA アドバンスα ⅠA 問題集ノート Cue (データの分析)  
問題集ノート Cue (図形の性質)

1. 科目目標

納得するまで考える忍耐力を身に付ける

- ① 分析力の向上 (状況判断する力)
- ② 翻訳力の向上 (課題の内容を自分の言葉で言い換える力)
- ③ 目標設定力の向上 (課題解決に向かうスモールステップを自分で設ける力)
- ④ 遂行力の向上 (課題解決の過程を説明する力)

2. 学習計画及び評価方法

(CanDo リストになっています。単元毎に自己評価をしましょう)

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校数学の基礎となる計算力や工夫の仕方を身に付ける。</li> <li><input type="checkbox"/> 中学数学を元に、展開公式や因数分解の手法、1次不等式、絶対値記号のはずし方や対称式の性質を学ぶ。(①分析力④遂行力)</li> <li><input type="checkbox"/> パラメータの取り扱いを学ぶ。(②翻訳力③目標設定力④遂行力)</li> </ul>
	7		
		2次関数	



	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 ~ 3	方程式・式と証明  データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度な方程式の解き方や証明の手法を学ぶ。</li> <li>□複素数を用いて、高次方程式やそれらに関連する概念を身に付ける。(①分析力③目標設定力)</li> <li>□証明する手法を確立する。(①分析力②翻訳力)</li> <li>・ヒストグラムや箱ひげ図などのグラフを通して、データが分析できる。</li> <li>□「偏差」「分散」などの統計用語を正しく理解し、それらを通してデータが分析できる。(①分析力②翻訳力)</li> </ul>
		【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
		【第3学期の評価方法】 1、2学期までの成績を基本とする。しかし、定期試験の平均点の状況によっては、平常点を20%以内で評価することもある。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をするところもある。	
		【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。 しかし、定期試験の平均点の状況によっては、平常点を20%以内で評価することもある。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をするところもある。	

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	学習を通じ数学的事象に興味・関心を持ち、自分なりに考えたり、級友と解法についての相談をしたりする。	提出物の状況 授業中の様子
思考・判断 ③目標設定力 ④遂行力	身に付けた知識やテクニックを利用して、抽象的な課題、複雑な課題に取り組み、課題解決を図る。	各テスト
技能・表現 ①分析力 ②翻訳力	数式や図形の性質や特徴を理解し、課題解決を図る。	各テスト
知識・理解	用語の定義や意味、公式、数学における基本的な概念を理解し、それを活用できる。	各テスト

#### 4. 学習サポート(教科担当者より)

##### ①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違える事と)わからないし、出来るようにもならない。数学で大切なのはアウトプットする事。

- 先ず手を動かす事…自分で出来る部分と出来ない部分を把握し、復習する部分を見付ける。  
おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない…カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになる事。
- 分からなければ誰かに尋ねる…「教え合う」事で理解度 90%。数学が苦手と自覚している人は、特に「人に尋ねる」こと心掛ける。  
→win-win の関係を築く。

##### ②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→…」を心掛ける。

##### 復習の仕方

- ・その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)その際、気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・理解が乏しければ、目印をつけ、数日後にもう一度解き直してみる。
- ・授業前にノートを開き、直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・復習の際は、数式だけ羅列するのではなく、常に「誰かに見せるつもり、誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げてもいい。

##### 演習の仕方…アドバンス $\alpha$ や Focus Gold を中心に演習

- ・計算力をつけたい→アドバンス  $\alpha$ 、Focus Gold \*マーク 1~2
- ・考える力をつけたい→アドバンス  $\alpha$ 、Focus Gold \*マーク 3~4
- ・Classi やロイロノートを大いに利用すること。

##### その他

- ・進路実現が最大の目標であり、そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立2次試験であり、そこで合格点を得るためには、参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ、「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

思考力を育むための土台を固める

態度目標

創造力と創造力の  
伸長

積極的に聴く  
聴くときは、集中して聴く  
教師を信頼し、聴く  
(分かったつもりにならない)  
クラスメートのやり方・方法を聴く  
※質問にレベルはない

計算力と思考力の  
融合

妥協しない  
納得するまで諦めない  
答えを写して満足しない、自分が納得  
するまで繰り返す  
過去に遡ることをためらわず、勇気  
をもって調べる

納得するまで考える  
忍耐力

家庭で自己を見つめる  
その日あったことを振り返る(復習する)  
その日の授業を、頭の中で思い起こす

アウトプットを意識する  
課題に取り組み、一人で出来るかを確認  
する  
友達に説明できるか試してみる

知識・技能を身に付ける

計算力の定着(数値が合うまでやり直す)

表現力・思考力を身に付ける

論理的に物事を考える(クラスメートに説明してみる)

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
物理基礎	2	1年	I・IIコース

教科書名 改定物理基礎 (東京書籍)

副教材名 ニューアチーブ物理基礎 (東京書籍)

1. 科目目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。
3. 物理の学習を通じて、自ら主体的に学ぶ姿勢と、他者と協働して学習する態度を身に付ける。  
 学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。  
 また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
一 学 期	4	物理量の測定と扱い方 速度・加速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効数字を考慮した数値の表し方を学ぶ。</li> <li>・直線運動における変位，速度，加速度などの運動の表し方を理解する。</li> </ul>
	5	1 速さと等速直線運動 2 直線運動の加速度 3 落体の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線上を運動する物体の加速度について理解し，グラフや式を使って物体の運動を分析する。</li> </ul>
	6	さまざまな力とそのはたらき 1 力とつり合い 2 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が空中を落下する際の運動の特徴について理解し，鉛直方向の落下運動の式が扱える。</li> <li>・物体にはたらく様々な力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに，それらの力がつり合う条件を見いだせるようになる。</li> <li>・作用反作用の法則を理解する。</li> <li>・慣性の法則，運動の法則について理解し，物体にはたらく力と運動との関係を分析する。</li> </ul>
<b>【課題・提出物】</b> ・確認テストおよび AL リフレクションシート ・ニューアチーブ物理基礎			
<b>【1学期の評価方法】</b> 定期試験 ＋ 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。 <input type="checkbox"/> ニューアチーブ物理基礎の取り組み <input type="checkbox"/> 授業に対する意欲・積極性			
	月	学習内容	学習のねらい
	9	3 さまざまな運動とはたらく力 力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連結，押し合う2物体の運動を考える。</li> <li>・摩擦力を受ける物体の運動について学ぶ。</li> </ul>



<p>10</p> <p>1 仕事 2 運動エネルギーと位置エネルギー 3 力学的エネルギーの保存</p> <p>11</p> <p>1 熱と温度 2 熱の利用</p> <p>12</p> <p>波 1 波の性質</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーを測るものさしとしての仕事の定義、及び仕事の原理と仕事率について理解する。</li> <li>・仕事をする能力としての運動エネルギーと位置エネルギーの表し方について理解する。</li> <li>・力学的エネルギー保存の法則とその適用条件について、仕事と関連付けて理解を深める。</li> <li>・熱の正体、温度目盛りについて理解する。</li> <li>・熱量、熱容量、比熱、及び熱量の保存について理解し、熱を定量的に扱えるようになる。</li> <li>・仕事と熱の変換、内部エネルギー、及び熱力学第一法則について学び、熱現象とエネルギーの関係について理解する。</li> <li>・熱機関とその熱効率及び熱現象の不可逆性について学び、エネルギーの有効利用についての理解を深める。</li> <li>・波の伝わり方について理解する。</li> <li>・波の基本的な性質を理解し、波の速さ、波長、周期や振動数の量的関係を扱えるようになる。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テストおよび AL リフレクションシート</li> <li>・ニューアチーブ物理基礎                      ・夏期休業中課題</li> </ul> <p><b>【実験】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力学的エネルギーの実験                      ・ブラウン運動の観察                      ・縦波と横波の観察</li> </ul>		
<p><b>【2学期の評価方法】</b> 定期試験 + 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。 ○ニューアチーブ物理基礎の取り組み                      ○授業に対する意欲・積極性                      ○夏季課題</p>		
<p>月</p>	<p>学習内容</p>	<p>学習のねらい</p>
<p>1 2 3</p>	<p>2 音と振動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波の独立性、重ね合わせの原理、反射について観察や作図を通して学び、定常波ができるしくみについて理解する。</li> <li>・音波の性質として、うなり、固有振動、共振、共鳴などを学び、楽器の原理について理解する</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テストおよび AL リフレクションシート                      ・ニューアチーブ物理基礎</li> </ul>		

<p><b>【実験】</b></p> <p>・音の波形の観察</p>
<p><b>【3学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験（80%） 平常点（20%） 平常点は以下の項目などにより評価する。</p> <p>○ニューアチーブ物理の取り組み ○授業に対する意欲・積極性 ○冬期休業中課題</p>
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 定期試験 + 平常点</p> <p>平常点は以下の項目などにより評価する。</p> <p>○ニューアチーブ物理の取り組み ○授業に対する意欲・積極性 ○長期休業中課題への取り組み</p>

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	物理量や物理の現象について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査 確認テスト
思考・判断・表現	様々な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	グループワークにおける活動 定期試験
主体的に学習に取り組む態度	学習活動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	学習活動における態度、 振り返りシート

### 4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<p>1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度を身につけましょう。</p> <p>2. 物理法則の導出過程を大切にし、論理的な思考力を高めよう。</p> <p>3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。</p> <p>4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させましょう。</p> <p>&lt;定期試験に向けて&gt;</p> <p>1. 演習プリントで基礎の確認。（教科書、授業プリントの見直しや解き直し）</p> <p>2. ニューアチーブ物理を2～3周し、理解を深めましょう。</p>
---

科目	単位数	対象学年	対象クラス
化学基礎	2	1	全クラス

教科書名 化学基礎 academia ( 実教出版 )

副教材名 新インプレス化学基礎ノート ( 浜島書店 )

### 1 科目目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	<b>1章 物質の構成</b> <b>1節 物質の探究</b> 1 物質の分離と精製 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動	・物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。	
	5	<b>2節 物質の構成粒子</b> 1 原子の構造 《1学期中間試験(8時間)》 2 イオンの生成 3 周期表	・構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	
	6	<b>2章 物質と化学結合</b> <b>1節 イオン結合</b>	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。	
	7	1 イオン結合とイオン結晶 《1学期期末試験(8時間)》		
	【課題・提出物】 (1) 授業中に配布する演習プリント (2) 授業ノート (3) 各定期テストの該当範囲を解答したインプレス化学基礎ノート			
	【1学期の評価方法】			
	(1) 定期試験の成績(80%) ①知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。			
(2) 学習態度等の平常点(20%) ①授業時の学習過程で、評価の観点の3項目について評価する。 ②課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。				

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<b>2章 物質と化学結合</b> <b>2節 共有結合と分子間力</b> 1 共有結合 2 分子間力 3 共有結合からなる物質 <b>3節 金属結合</b> 1 金属結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。さらに、分子間の結合によって物質ができていることを理解する。配位結合の仕方も学習する。</li> <li>金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。</li> <li>1～3節において学んだ物質の結晶を、結合の違いによって区別し、性質を整理する。具体的な物質について、それぞれ性質や利用例を理解する。</li> <li>原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学習する。</li> <li>物質量と溶液の濃度の関係を学習する。</li> <li>化学反応式の表し方について学習する。</li> </ul>
	10	<b>4節 化学結合と物質</b> 1 物質の分類 《2学期中間試験(10時間)》	
	11	<b>3章 物質の変化</b> <b>1節 物質量と化学反応式</b> 1 物質量と分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度	
	12	《2学期期末試験(12時間)》 4 化学反応式 A 化学変化と化学反応式	
<b>【課題・提出物】</b> (1) 授業中に配布する演習プリント (2) 授業ノート (3) 夏季休業中の課題 (4) 各定期テストの該当範囲を解答したインプレス化学基礎ノート			
<b>【2学期の評価方法】</b> (1) 定期試験の成績(80%) ①知識・理解の確認とともに、化学的思考を問う問題も出題する。 (2) 学習態度等の平常点(20%) ①授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ②課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	4 化学反応式 B 化学変化式と量的関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。</li> <li>水溶液の酸性・塩基性の強弱と電離度との関係について理解する。</li> </ul>
	2	参考 基本法則に関連した化学史	
	3	<b>2節 酸と塩基</b> 1 酸と塩基 《学年末試験(12時間)》	

<p><b>【課題・提出物】</b> (1) 授業中に配布する演習プリント (2) 授業ノート (3) 冬季休業中の課題 (4) 定期テストの該当範囲を解答したインプレス化学基礎ノート</p>
<p><b>【3学期の評価方法】</b> (1) 定期試験の成績(80%) ①知識・理解の確認とともに、化学的思考を問う問題も出題する。 (2) 学習態度等の平常点(20%) ①授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ②課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。</p>
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 各学期の成績と平常点を総合して評価する。</p>

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>・物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する基礎を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・授業ノート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・課題レポート</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質とその変化の中に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・授業ノート</li> <li>・演習プリント</li> <li>・定期テスト</li> <li>・課題レポート</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・授業ノート</li> <li>・演習プリント</li> <li>・課題レポート</li> </ul>

### 4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、学習相談を実施するので、つまづいている箇所があれば早めに質問してほしい。対面に加えてロイロノートを利用した学習相談も受け付ける。</li> <li>・ロイロノートを利用した資料の配信・課題の提出・小テストなどを行い、学習内容の理解の深化や定着を促す。</li> <li>・化学は理系科目の土台になる科目である。2年次以降に化学を選択しない生徒にも共通する範囲があるので、一生懸命に取り組みましょう。</li> </ul>
---

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
生物基礎	2	1 学年	I・IIコース

教科書名 生物基礎（数研出版）

副教材名 スクエア最新図説生物（第一学習社） セミナー生物基礎（第一学習社）

スタディアップノート生物基礎（数研出版）

### 1. 科目目標

#### 1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを知る。

#### 2. 学力をつける

日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テストに対応できる学力を構築する。

#### 3. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期		生物基礎を学ぶにあたって 探究活動の進め方	
		第1編 生物の特徴	第1章 生物の特徴
	4	第1章 生物の特徴	生物は多様であること、多様な生物にも細胞構造をもつなど共通性があること、その共通性は共通の起源をもつことに由来することを学習する。さらに、
	5	1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 呼吸と光合成	酵素のはたらき、光合成と呼吸の学習を通して、生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。
	6		
		1学期中間試験[8時間]	

1 学 期	<p>第2章 遺伝子とそのはたらき</p> <p>1. 遺伝情報と DNA</p> <p>2. 遺伝情報の複製と分配</p> <p>3. 遺伝情報の発現</p> <p>1 学期期末試験 [7 時間]</p>	<p>第2章 遺伝子とそのはたらき</p> <p>遺伝子の本体である DNA について、構造および遺伝情報はその塩基配列にあることを理解する。また、転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質の合成について学習する。さらに、遺伝情報は正確に複製されて受け継がれること、それぞれの細胞ではすべての遺伝子が発現しているわけではないことについて学習する。</p>
	<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する</li> </ul>	
	<p><b>【第1学期の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績 (80%)</li> <li>学習態度及び提出物 (20%)</li> </ul>	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	7	第2編 ヒトの体内環境の維持	<p>第3章 生物の体内環境</p> <p>多細胞動物の体内の細胞にとって、体液は一種の環境(体内環境)である。体内環境が一定に保たれているしくみや調節方法について学ぶ。また、循環系、腎臓、肝臓、自律神経系と内分泌系、免疫について学習する。</p>
	9	<p>第3章 ヒトの体内環境の維持</p> <p>1. 体内での情報伝達と調節</p> <p>2. 体内環境の維持のしくみ</p> <p>2 学期中間試験[12 時間]</p>	
	10 11	<p>3. 免疫のはたらき</p> <p>2 学期期末試験 [11 時間]</p>	
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答しえ、提出する</li> </ul>			
<p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績 (80%)</li> <li>学習態度及び提出物 (20%)</li> </ul>			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12	第3編 生物の多様性と生態系	第4章 植生の多様性と生態系 植生について、その構造や遷移のしくみについて学習する。さらに、地球上にはさまざまなバイオームが見られ、バイオームの分布は、気温と降水量によって決まることを理解する。また、生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習する。その上で、生態系はそのバランスが保たれていることを理解する。
	1	第4章 植生の多様性と生態系	
	2	1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム 3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全  3学期期末試験 [14時間]	
【課題・提出物】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する</li> </ul>			
【第3学期の評価方法】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績 (80%)</li> <li>学習態度及び提出物 (20%)</li> </ul>			
【年間の学習状況の評価方法】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する</li> </ul>			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の様子</li> <li>課題提出</li> <li>定期テスト</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の様子</li> <li>課題提出</li> <li>定期テスト</li> </ul>
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、それを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の様子</li> <li>課題提出</li> <li>定期テスト</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。</li> <li>自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の様子</li> <li>課題提出</li> <li>定期テスト</li> </ul>

### 4. 学習サポート

<ul style="list-style-type: none"> <li>随時、学習相談を実施する。</li> <li>授業内容と問題集の橋渡しとして、単元ごとに演習プリントによる演習を行う。</li> </ul>
---



科目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	2	1	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育

副教材名 現代高等保健体育ノート

1 教科目標

生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため

- (1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身に付ける。
- (2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p>集団行動</p> <p>①集合・隊形</p> <p>②方向変換・列の増減</p> <p>体づくり運動・体育理論(通年で行う)</p> <p>(1) 体づくり運動</p> <p>①体ほぐしの運動</p> <p>②実生活に生かす運動の計画</p> <p>(2) 体育理論</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展(1年次)</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方(2年次)</p> <p>豊かなスポーツライフの設計の仕方(3年次)</p> <p><b>スポーツテスト(新体カテスト)</b></p> <p>種目: 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p>	<p>・集団の一員として迅速に、かつ安全に行動できるようにする。</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。</p> <p>②健康に生活をするための体力の向上、運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を養う。</p> <p>・以下4項目に関し、体育実技の実施と関連させながら学習する。</p> <p>①スポーツの歴史的発展と多様な文化</p> <p>②現代スポーツの意義や価値</p> <p>③スポーツの経済的効果と高潔さ</p> <p>④スポーツが環境や社会にもたらす影響</p>
	5	<p><b>ソフトボール(男子)</b></p> <p>①オリエンテーション</p> <p>(全体・活動計画、ルール等)</p> <p>②キャッチボール、守備練習、バッティング練習等</p> <p>(ボール操作、バット操作の習得)</p> <p>③初歩的なゲーム</p> <p>(決められた回数で攻防を繰り返す)</p> <p>個人・集団の技能習得内容</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。</p> <p>・仲間と連携して、ベースボール型スポーツの基本的動作を習得し、攻防を展開できる力を身に付ける。</p> <p>・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスの取れた攻防を展開できるようにする。</p> <p>・狙ったところへボールを投げることができるようにする。</p> <p>・打球の状況に合わせて身体を操作し、捕球できるようにする。</p>

1 学 期	7	キャッチボール (ゴロ、バウンドボール、フライなど) 捕球からの送球 (シートノックなど) バッティング (トスバッティング, ティーバッティ ング, フリーバッティングなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定したバット操作を習得し, 易しい投球に対して狙った方向へボールを打ち返すことを目指す。</li> <li>仲間と連携して, ネット型スポーツの基本的動作を習得し, 攻防を展開できる力をつける。</li> </ul>
	5	<b>バレーボール(女子)</b> ①オリエンテーション 整列指導・規律訓練 指導計画・ルール等 ②ボール慣れ・バレーボールを楽しむ ③個人技術の習得 個人・集団の技能修得内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを落とさず, ラリーを続ける楽しさが感じられることを目指す。</li> <li>基本技術のパス・レシーブの習得に重点を置き, ラリーが続けられるようにする。</li> <li>サーブ・レシーブ・スパイク等の練習を通じて, 各種の技術を取得するとともにルールを理解し, 仲間と協力してゲームが展開できるようにする。</li> </ul>
	6 7	直上パス・対人パス オーバーハンド・アンダーハンド サービス アンダーハンド・フローター等 レシーブ サーブレシーブ・スパイクレシー ブ・ゲーム ※体育理論	
【課題・提出物】なし			
【1学期の評価方法】 ①実技試験(60%) ソフトボール(男子) ・打球をキャッチしてからの送球やバッティングなどの実技試験。 ・ルールを理解し, 試合を進めることができるか。 バレーボール(女子) ・オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・サービス・スパイク等の実技試験。 ・ルールを理解し, 試合を進める事ができるか。 ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し, 準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加出できている。 ・ルール等の確認テスト			
月	学習内容		学習のねらい
9	スポーツテスト(新体力テスト) 種目: 握力・上体起こし・長座体前屈・ 反復横とび・持久走・50m走・立ち幅 跳び・ハンドボール投げ 陸上競技(長距離走) ①ジョギング ②持久走		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ, 生涯スポーツに繋がる土台を養う。</li> <li>休まずに決められた距離・時間を自分のペースで走ることが出来るようにする。</li> <li>比較的長い距離を決められた時間内でゴールすることができるようにし, 記録の向上を目指す。</li> <li>仲間と連携して, ゴール型スポーツの基本的動作を習得し, 攻防を展開できる力をつける。</li> </ul>
10	<b>サッカー(男子)</b> ①キック インステップキック		<ul style="list-style-type: none"> <li>インステップキック 自分の狙った場所にボールを蹴る。</li> </ul>

2 学 期	11	<p>インサイドキック リフティング</p> <p>②コントロール グラウンダーのボール、浮き球 ③ドリブル</p> <p>④フェイント フェイントシザース ボディフェイント</p> <p>⑤ゲーム</p> <p>⑥ルールの理解</p>	<p>インサイドキック 自分の狙った場所にボールを蹴る。 リフティング ボールを落とさずに蹴り続けることができる。自分の蹴りやすい場所にボールを置くことができる。</p> <p>・エッジコントロール・クッションコントロール・胸、正確なボールタッチで速くボールを運ぶことができる。 ・落ち着いてフェイントの技術を発揮することができる。 ・攻撃・守備の基本的な原則を理解し実践することができる。 ・ルールの理解</p> <p>プレイの開始、ファウル、不正行為、オフサイド、スローイン、ゴールキック、コーナーキックを理解してゲームに取り組むことができるようにする。</p>
	10	<p><b>ダンス（女子）</b></p> <p>①ウォーミングアップ ストレッチ・クーリングダウン</p>	<p>・仲間と連携して、ダンス（課題）・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて踊ることができる。</p> <p>①各動作の特徴を正確にとらえ、表現することができるようにする。</p>
	11	<p>②現代的なリズムのダンス ヒップホップ・エアロビクスなど</p> <p>③発表</p>	<p>②音楽に合わせて表現したい内容を踊り、楽しむことができる。</p> <p>③作品に変化とまとまりを付けて発表をする。</p>
	12	<p><b>卓球（男子）</b></p> <p>①グリップ 用具の扱い方</p> <p>②ストローク</p>	<p>・仲間と連携して、ネット型スポーツの基本的動作を習得し、攻防を展開できる力をつける。 ・用具の操作について理解をする。</p> <p>フォアハンド・バックハンドの正しいフォームを習得し、ラケットの中央でボールを捉えられるようにする。</p>
	12	<p><b>バスケットボール（女子）</b></p> <p>基本動作 ※体育理論</p>	<p>・仲間と連携して、ゴール型スポーツの基本的動作を習得し、攻防を展開できる力をつける。 ・ルールや基本動作を理解・実践する。</p>
	<p><b>【課題・提出物】</b> なし</p>		
	<p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <p>①実技試験（60%） サッカー（男子）</p> <p>・インステップキック、インサイドキック、リフティングなどの実技試験。 ・ルールを理解し、試合を進める事ができるか。</p>		

2 学 期	<p>ダンス（女子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振りの的確に覚え、表現することが出来るか。（個人・集団）</li> <li>・ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びをあじわえるよう進んで取り組もうとしているか。</li> <li>・互いの良さを認め合い、協力して練習及び創作・発表に取り組んでいるか。</li> </ul> <p>陸上競技（長距離走）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に練習に取り組んでいるか。</li> <li>・個々の能力に応じた記録の向上がみられたか。</li> </ul> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。</li> <li>・正しい服装で授業へ参加できている。</li> <li>・ルール等の確認テスト。</li> </ul>	
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	<p>1 卓球（男子）</p> <p>2 ①グリップ ②ストローク ③サービス ④ルールの理解 ⑤ラリーの組み立て方</p> <p>バスケットボール（女子）</p> <p>①ハンドリング ②レグスルー ③シュート     セットシュート     レイアップシュート ④ドリブル各種 ⑤パス各種 ⑥ゲーム・ルールの理解 ※体育理論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス時のルールを理解させロング、ショートサービスを使い分けるようにする。</li> <li>・基本的なルールを理解する。</li> </ul> <p>ツッツキ、ドライブなどの球種を理解しゲームの中の攻防に組み入れることができるようにする。</p> <p>卓球の特性であるリズム感を習得し、ラリーを続けることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手、指でボールを扱うことができる。</li> <li>・ボールを両手、片手、左右で自在に操ることが出来る。パス、ドリブル、シュートの感覚を身に付ける。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レイアップシュート、ゴール下シュートができるようにする。</li> </ul> <p>攻撃・守備の基本を理解し、基本的な技術を身につけ、ミニゲームで実践することができるようにする。</p>
【課題・提出物】なし		
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>①実技試験（60%）</p> <p>卓球（男子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーブ、スマッシュ等の試験による評価。</li> <li>・ルールを理解し、試合を進めることができる。</li> </ul> <p>バスケットボール（女子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブル・シュートの試験による評価。</li> <li>・ルールを理解し、試合を進めることができる。</li> <li>・道具の準備や片付けを協力しながら積極的にできる。</li> </ul> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。</li> <li>・正しい服装で授業へ参加できている。</li> <li>・ルール等の確認テスト。</li> </ul>		

**【年間の学習状況の評価方法】**

学年末評定は1学期・2学期・3学期の実技の平均（60%）

年間の授業態度・意欲・服装・出席状況・（40%）

上記を総合的に判断して評価する。

**3 観点別評価内容および評価方法**

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な 事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動技術（技）の名称や試合を進めるためのルールを学ぶ姿勢がある。</li> <li>2. 各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけており, ゲームに生かすことができる。</li> <li>3. 各運動の特性に応じて勝敗を競い, 攻防を展開できる技能を有する。</li> <li>4. ミニゲームの審判を務めることができる。</li> </ol>	<p>実技テスト 確認テスト 記録 観察</p>
思考・判断・表現	<p>自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それを他者に伝えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための取り組みを工夫し, 伝えようとしている。</li> <li>2. 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。</li> </ol>	<p>記録 観察</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欠席が少なく, 授業への参加態度が良好である。</li> <li>2. 健康・安全に配慮した服装で参加をし, 学習に主体的に取り組もうとする態度で臨んでいる。</li> <li>3. 多様性を理解し仲間と協力することができる。</li> </ol>	<p>記録 観察</p>

**4 学習サポート（事前・事後学習等について）**

実技科目の特性上, 基本は授業内で実施をするが, 必要性や状況に応じて対応をする。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
保健	1	1	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育 (大修館書店)

副教材名 現代高等保健体育ノート (大修館書店)

1 科目目標

健康・安全について理解を深めるようにし、自らの健康に興味を持ち、適切に管理し改善していくための資質・能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	1 単元 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな健康の考え方について理解する。</li> <li>・健康を成り立たせている要因を理解する。</li> <li>・わが国の健康水準の変化とその背景について理解する。</li> </ul>	
		2 私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の現在の健康問題について理解する。</li> <li>・生活習慣病の種類と要因について理解する。</li> <li>・生活習慣病の一次予防、二次予防について理解する。</li> </ul>	
		3 生活習慣病の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの種類や原因について理解する。</li> <li>・がんの一次予防と二次予防について理解する。</li> </ul>	
		4 がんの原因と予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんのおもな治療法や緩和ケアについて理解する。</li> </ul>	
	5	5 がんの治療と回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について理解する。</li> </ul>	
		6 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と運動の関係について理解する。</li> <li>・目的に応じた健康的な運動のしかたを身につける。</li> </ul>	
		7 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事と健康の関係について理解する。</li> <li>・健康的な食事のとり方について理解し、身につける。</li> </ul>	
	6	8 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について理解する。</li> <li>・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について理解する。</li> </ul>	
		9 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解する。</li> </ul>	
		7	10 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげ、説明することができる。</li> <li>・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響について理解する。</li> <li>・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげ、説明することができる。</li> </ul>
			11 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する。</li> <li>・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について例をあげ、説明することができる。</li> </ul>

【課題・提出物】 ○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート			
【1学期の評価方法】 ○定期試験 ○平常点(保健ノート、プリント、レポートなどの提出状況)			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	12 精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について理解する。</li> <li>・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。</li> </ul>
	10	13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患を予防する方法について理解する。</li> <li>・精神疾患の治療について理解する。</li> <li>・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて例をあげることができる。</li> <li>・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ理解する。</li> </ul>
	11	16 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防対策について3原則を理解し、例を挙げることができる。</li> <li>・感染症への個人と社会の対策について理解し、例をあげて説明できる。</li> </ul>
	12	17 性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について理解する。</li> <li>・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。</li> </ul>
		18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定・行動選択に影響を与える要因について理解する。</li> <li>・社会環境の健康への影響について理解する。</li> <li>・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について理解する。</li> </ul>
【課題・提出物】 ○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート			
【2学期の評価方法】 ○定期試験 ○平常点(保健ノート、プリント、レポートなどの提出状況)			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	2 单元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の実態と被害の実態について理解する。</li> <li>・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて理解する。</li> <li>・安全のために必要な個人の行動について理解する。</li> </ul>
	2	2 安全な社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて理解する。</li> </ul>

3	3 交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解する。</li> <li>・交通事故における責任を3つに分け理解する。</li> <li>・応急手当の意義について理解する。</li> <li>・傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを身につけ、実践できる。</li> <li>・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について身につけ、実践できる。</li> <li>・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当の仕方を身につける。</li> <li>・心肺蘇生法の方法と手順について理解する。</li> <li>・実際に、心肺蘇生法仕方を身につける。</li> </ul>
	4 応急手当の意義とその基本	
	5 日常的な応急手当	
	6 心肺蘇生法	
【課題・提出物】 ○保健ノート    ○授業プリント    ○課題レポート		
【3学期の評価方法】 ○定期試験 ○平常点（保健ノート、プリント、レポートなどの提出状況）		

【年間の学習状況の評価方法】

100点法にて評価（試験・平常点で総合評価する）

《詳細》

(1) 各学期評価【試験における素点の80%+平常点20%にて評価】各学期、年度末とも

(2) 年度末評価【(1学期素点+2学期素点+3学期素点)÷3+年間平常点素点÷3にて評価】

(3) 平常点の算出

授業に対する評価・スモールテスト・DVD視聴、まとめレポートにて意欲・関心・態度、思考・判断、知識・理解の観点を総合評価する。

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペーパー試験において、事実に知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題をバランスよく出題する。</li> <li>○授業中に知識や技能を用いる場面を設定する。実習や体験（応急手当や心肺蘇生など）を行う。</li> </ul>	定期試験 豆テスト 観察
思考・判断・表現	○論述やレポートの作成、発表。グループでの話し合いなどを行う。	レポート 観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートやレポートによる記述</li> <li>○授業中の発言</li> <li>○自己評価</li> </ul>	観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

質問に関しては、随時教科担当者が対応する。



科 目	単位数	対象学年	対象クラス
音楽 I	2	1 学年音楽選択者	全クラス

教科書名 高校音楽 I Tutti+ ( 教育出版 )

1 科目目標

<p>(1) 歌唱を通して、曲種に応じた発声や曲想を工夫し表現する技能を高める。</p> <p>(2) 器楽演奏を通して、楽器奏法や視奏力を身につけ、合奏の楽しさを味わう。</p> <p>(3) 時代や地域に基づく音楽文化について、理解を深めるとともに、主体的に鑑賞し根拠をもって自分なりに思考・判断することのできる言語表現力を養う。</p> <p>(4) 音楽の組み立て方を学び、創作の技能を身につける。</p>
---

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	○校歌・学生歌・応援歌の歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の特徴や歴史的背景を理解し、意欲的に活動する。</li> <li>・作品に合った発声を習得する。</li> <li>・音楽史を理解する。</li> <li>・多角的な観点から学びを深める。</li> </ul>
	5	○日本歌曲や西洋歌曲の歌唱 (イタリア・ドイツ歌曲)	
	6	○日本及び世界各国の音楽の特徴・特色の理解 ○他の芸術と音楽の結びつきを学ぶ	
	7	○合唱曲の歌唱  ○ボディーパーカッションやヴォイスアンサンブルを通したリズムの理解、グループ演奏	
【課題・提出物】ワークシート			
【1学期の評価方法】			
・歌唱実技テスト			
・平常の取り組み (ワークシート・鑑賞の記録等)			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	○ミュージカルの鑑賞と歌唱 ○洋楽の理解と歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の様式を理解する。</li> <li>・曲想を工夫し、表現する。</li> <li>・正しい奏法を体得する。</li> <li>・コードを用いて弾き語りをする。</li> <li>・楽曲特有の特徴や歌唱法を理解し、表現の工夫をする。</li> <li>・様々な楽器の特性を理解する。</li> </ul>
	10	○ギター奏法の習得 ○コードについての理解	
	11	○欧米、民族の音楽の理解 ○オペラの鑑賞 ○映画音楽の歌唱	
	12	○日本の楽器やオーケストラの楽器の理解	

		○ハンドベル演奏 ○ゴスペル曲の歌唱	・他者と協調し、合奏する。 ・様式を理解し、表現する。
	【課題・提出物】 ワークシート		
	【2学期の評価方法】 ・ギター実技テスト ・平常の取り組み（ワークシート・鑑賞の記録等）		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	○日本音楽（伝統音楽・ポピュラー音楽）の理解 ○音楽の仕組み、構成要素、楽典の理解	・伝統音楽における構造を理解する。 ・作品を通して、基本的な楽典を理解する。
	2	○シャンソンの歌唱	・楽曲特有の発音、歌唱法を理解し、表現の工夫をする。
	3	○自由発表	・各自が主体的に創意工夫をし、演奏や作品発表をする。
	【課題・提出物】 ワークシート		
	【3学期の評価方法】 ・自由発表 ・平常の取り組み（ワークシート・鑑賞の記録等）		
【年間の学習状況の評価方法】 ○平常点 20%、実技点 80% ※各定期試験は実施しない。 ○学年末評価は三学期評価を算出の上、各学期の平均として行う。			

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し演奏や鑑賞ができる。	・歌唱 ・ワークシート提出
思考・判断・表現	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって演奏や鑑賞ができる。 曲種に応じた発声や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏ができる。	・歌唱 ・器楽演奏・ ・ワークシート提出
主体的に学習に取り組む態度	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して演奏や鑑賞ができる。	・歌唱 ・器楽演奏 ・ワークシート提出

### 4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の読み方、リズムや音程の取り方、楽器の奏法などの個別指導も行う。</li> <li>・休み時間なども相談を受け付ける。</li> <li>・音楽系大学や音楽教育などの進路指導にも対応する。</li> </ul>
---

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
美術Ⅰ	2	1学年美術選択者	全クラス

教科書名 高校生の美術 1

副教材 実習に必要な材料・用具(年度初めに用意)

1. 科目目標

制作活動を通して、造形的な表現への興味や関心を高めるとともに、具体的に表現するための技能や知識を習得し、美術的な文化活動を将来にわたって楽しむことができる資質を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	◎「ドローイング」：線描写を用いて空間を表現する	・透視図的な物の見方やハッチングなど描画を体験し、空間認識力を高める。
	5		
	6	◎「高さに挑戦」：紙工作でより高い造形物を作る	・材料や道具の基本的な性質を理解し、限られた条件で表現する柔軟性や巧緻性を養う。 ・自己分析シートを活用し、自己評価力を高める。
	7		
【課題・提出物】			
・作品 8枚			
【1学期の評価方法】			
・平常点：出席数、授業態度、作品の提出率など 20点			
・技能点：作品やアイデアスケッチから授業理解や表現力を評価 80点 (発想・構想 各5点)・(創造的技能 各5点)×8作品			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	◎「空想の生物と図鑑の制作」 ：塑像による立体表現と着彩による色彩効果の学習	・立体的な想像力を高め、空間認識力を育成する。 ・混色や重色などについて理解し、配色の効果についての思考力、表現力を高める。 ・これまでの多様な学習内容を活かして想像を膨らませ、発想力や構想力を育む。
	10		
	11		
	12	◎「ゾートロープ」：アニメーションの学習	・動画原理の学習からアニメーションへの関心を抱く。 ・動画作品を鑑賞する人に、表現者の意図が伝わる喜びを味わい、表現目的や造形文化について考える。
【課題・提出物】			
・作品(立体作品、ゾートロープ)			
【2学期の評価方法】			
・平常点：出席数、授業態度、作品の提出率など 20点			
・技能点：作品やアイデアスケッチから授業理解や表現力を評価 80点			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	◎「光で楽しむ半立体作品」 : 切り抜いた画用紙を重ね、画面に凹凸のある表現をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現主題に応じた教材の活用を創意工夫し表現力を育成する。</li> <li>・画用紙の重なりによる光の効果をイメージしながら構想することにより想像力を養成する。</li> <li>・立体的に表す効果的な方法を試行錯誤し思考力や判断力を高める。</li> <li>・生徒間で表現意図や効果を共有し造形的な知的活動を楽しみ、創造力やコミュニケーション力を育成する。</li> </ul>
	2		
	3		
<b>【課題・提出物】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品</li> <li>・ 課題プリント(任意)</li> </ul>			
<b>【3学期の評価方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常点：出席数、授業態度、作品の提出率など 20点</li> <li>・ 技能点：作品(発想・構想 各40点)・(創造的技能 各40点) 80点</li> </ul>			
<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 生徒の状況をふまえ、作品を通して総合的に評価する。			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画材の特性を効果的に利用することができる。</li> <li>・ 各単元で習得した内容を活用、応用できる。</li> </ul>	表現活動の観察 作品(習作含む)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題を的確に捉え、問題解決を図ることができる。</li> <li>・ 情報を整理し、表現のためのアイデアを練ることができる。</li> </ul>	資料プリント等での スケッチ、構成 学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示された課題に興味をもち、積極性や集中力を発して表現の可能性を追求することができる。</li> <li>・ 表現方法を工夫しながら丁寧に制作できる。</li> <li>・ 表現活動を通じて、周囲の状況に配慮しながら協力して制作できる。</li> <li>・ 完成度を高めながら造形の美しさや創造の楽しさを自分なりに発見し、そのよさを味わえる。</li> <li>・ 表現体験と鑑賞活動を通して自己評価できる。</li> </ul>	学習活動の観察 発言

### 4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の状況や必要に応じて、準備物や予習のための資料プリントを配布する。</li> <li>・ 課外で「放課後アートタイム」を設け、生徒が主体的に学習補完できるようにする。</li> </ul>
---

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
書道 I	2	1 学年書道選択者	全クラス

教科書名 書 I ( 光村図書 )

1 科目目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成する。

- (1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。
- (2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える。
- (3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写と書道の学習の違いを確認する。</li> <li>・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書に親しむ情操を養う。</li> <li>・用具用材の扱い方を学ぶ。</li> <li>・基本点画の用筆・運筆を身に付ける。</li> <li>・古典と現代の書を学び、それぞれの書の特徴を捉え臨書する。</li> </ul>
	5	漢字の変遷と様々な書体	
	6	文房四宝	
	7		
		唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑	
		【課題・提出物】鑑賞プリント 作品提出	
		【1学期の評価方法】作品提出による実技点80%、及び平常点20%	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	蘭亭序	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の基本的特徴を学ぶ。</li> <li>・王羲之や三筆・三跡等の歴史や作品が書かれた背景を理解する。</li> <li>・蘭亭序を学び模範的な行書を臨書する。</li> <li>・風信帖に学び古典筆跡の鑑賞と理解を深める。</li> <li>・仮名の成立までの過程を理解する。</li> </ul>
	10	風信帖 三筆・三跡	
	11	仮名の筆使い	

	12	平仮名 変体仮名 蓬莱切 継色紙 古筆を生かした創作 はがき・手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名文字の線質、書風、用筆等を理解し身に付ける。</li> <li>・平仮名、変体仮名の字源を意識し書く。</li> <li>・古筆を鑑賞し美しさを味わう。</li> <li>・散らし書きの構成を学び作品を制作する。</li> <li>・正しいはがき等の書き方を身に付ける。</li> </ul>
	【課題・提出物】鑑賞プリント 作品提出		
	【2学期の評価方法】作品提出による実技点80%、及び平常点20%		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具や表現法の効果を理解する。</li> </ul>
	2	心に響く言葉を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを用いて書きたい思いを言葉にして</li> </ul>
	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品として仕上げ創造力や表現力を育成する。</li> <li>・他者の作品を鑑賞し感受性を磨く。</li> </ul>
【課題・提出物】鑑賞プリント 作品提出			
【3学期の評価方法】作品提出による実技点80%、及び平常点20%			
【年間の学習状況の評価方法】			
実技点80%、及び平常点20% ※各定期試験は実施しない。			
学年末評価は、3学期評価を算出の上、各学期の平均となる。			

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に基づく基本的な点画や線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得できる。</li> <li>・古典作品の書家や時代背景を理解できる。</li> </ul>	学習活動の観察 作品を5段階評価 (完成度を重視)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や用途の即した形式、意図に基づく表現を工夫できる。</li> <li>・他者の作品を鑑賞し表現の工夫点や自己との相違点を見つけ、作品に生かすことができる。</li> </ul>	授業内プリント 学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具を適切に扱い礼儀作法を身に付けられる。</li> <li>・集中して取り組み、技術の向上に努めることができる。</li> <li>・話し合いに積極的に参加できる。</li> <li>・古典作品や生徒同士の作品に興味と関心をもって鑑賞できる。</li> </ul>	授業内プリント 学習活動の観察

### 4 学習サポート(事前・事後学習等について)

授業内・授業後に添削指導を行う。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
英語コミュニケーション I	5	1	IIコース

教科書名 BLUE MARBLE English Communication I ( 数研出版 )  
 副教材名 BLUE MARBLE English Communication I ナビゲーションノート ( 数研出版 )  
BLUE MARBLE English Communication I ワークブック ( 数研出版 )  
英単語ターゲット 1400 ( 旺文社 )  
Pair & Share <リピトレ版> ( いいずな書店 )  
大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング ( 旺文社 )

1 科目目標

「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の五つの領域を、統合的な言語活動を通してコミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成する。また、資料を読み情報や考えを的確に理解し、自分の意見を持ち、相手に伝えるコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<b>Lesson 1</b> <b>Friendships in the Digital Age</b> 【学校生活】 デジタル時代における友だち作りについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SV / SVC / SVO / SVOO / SVOC (第1文型から第5文型) について学習する。</li> <li>There is [are] 「～がある/いる」という表現を身につける。</li> </ul>
	5	<b>Lesson 2</b> <b>Expos: Past, Present, and Future</b> 【科学・社会】 万博における日本の関わりと、未来の万博の役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在[過去]完了形 (have [had] + 過去分詞) について学習する。</li> <li>完了進行形 (have / has + been + ~ing) について学習する。</li> </ul>
		<b>【Pair&amp;Share I】</b> Lesson1~2 <b>【基礎力養成コア表現トレーニング】</b> Lesson1~8	
	6	<b>Lesson 3</b> <b>The Fascinating World of a Professional Storyteller</b> 【異文化理解】 1人のアメリカ人女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>used to do の表現について学習する。</li> <li>could の意味や役割を理解する。</li> <li>助動詞を含む受動態 (can be done / will be done) の表現について学習する。</li> </ul>

	7	<p>を魅了した日本の伝統話芸の世界について考える。</p> <p><b>Lesson 4</b>  <b>Changing Behavior in Unique Ways</b>  <b>【社会・公共】</b>人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」について考える。</p> <p><b>【Pair&amp;Share I】</b>  Lesson3~6  <b>【基礎力養成コア表現トレーニング】</b>  Lesson9~17</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞+O+ <i>do</i> 「Oに～させる」という表現について学習する。</li> <li>・S + V + O + to <i>do</i> 「Oに～するようにVする」という表現について学習する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークブック</li> <li>・単語テスト</li> </ul>			
<p><b>【1学期の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験）</li> <li>・平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）</li> </ul>			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学期	9          10	<p><b>Lesson 5</b>  <b>A Journey to Peace</b>  <b>【教育・平和】</b>ルワンダ大虐殺を生き延びた1人の女性の物語を読み、正解平和について考える。</p> <p><b>Lesson 6</b>  <b>Humans Evolve with Measurements</b>  <b>【歴史・文化】</b>「測る」という行為を通して人類の進化の歴史について考える。</p> <p><b>【Pair&amp;Share I】</b>  Lesson7~9  <b>【基礎力養成コア表現トレーニング】</b>  Lesson18~23</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚動詞+O+ <i>do</i> の表現について学習する。</li> <li>・知覚動詞+O+分詞の表現について学習する。</li> <li>・使役動詞+O+分詞の表現について学習する。</li> <li>・S+V+if ~ 「～かどうか」を表す if について学習する。</li> <li>・関係代名詞の継続用法について学習する。</li> </ul>



11	<p><b>Lesson 7</b>  <b>Bio-logging: Discovering Animals' Secrets</b>  <b>【動物・科学】</b> 野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」とは何かを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係副詞 (when / where / why / how) の使い方を学習する。</li> </ul>
12	<p><b>Lesson 8</b>  <b>What to Do with Too Many Tourists</b>  <b>【環境・生活】</b> 「オーバーツーリズム」とは何か, そしてその解決策を考える</p> <p><b>【Pair&amp;Share I】</b>  Lesson10~13  <b>【基礎力養成コア表現トレーニング】</b>  Lesson24~29</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法過去 / 仮定法過去完了の表現を学習する。</li> <li>・I wish ~ 「～ならなあ」という表現方法を学習する。</li> <li>・as if ~ 「まるで～かのように」という表現方法を学習する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b> ・夏期休業期間中の課題 ・ワークブック ・単語テスト</p>		
<p><b>【2学期の評価方法】</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験素点：80% (中間試験及び期末試験)</li> <li>・平常点：20% (課題提出, 単語テスト, 授業態度)</li> </ul>		
3 学 期	<p>月</p> <p>学習内容</p>	<p>学習のねらい</p>
1	<p><b>Lesson 9</b>  <b>Surviving in the Information Age</b>  <b>【情報・社会】</b> 玉石混交の膨大な情報から真実にたどり着くために何をすべきかについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解の力を身につける。</li> <li>・目的を述べる表現方法を学習する。</li> </ul>
2	<p><b>Lesson 10</b>  <b>The Spirit of Zen: Less Is More</b>  <b>【日本文化】</b> 「禅」の精神とは何か, そして現代の世界に与えた影響について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解の力を身につける。</li> <li>・比較する表現方法を学習する。</li> </ul>
3	<p><b>【Pair&amp;Share I】</b>  Lesson14~18  <b>【基礎力養成コア表現トレーニング】</b>  Lesson30~43</p>	

【課題・提出物】	・冬期休業中の課題 ・ワークブック ・単語テスト
【3学期の評価方法】	定期試験素点：80%（期末試験） 平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）
【年間の学習状況の評価方法】	定期試験素点：80%（5回実施される定期試験素点の平均点） 平常点：20%（各学期の平常点の平均点）

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語や Key Phrases, Key Language の言語材料, 本文の論理展開を理解ができる。</li> <li>・各 Part 本文の内容について, 事実や自分の考えを整理し, 新出語や Key Phrases, Key Language の言語材料を用いて, 本文の内容を再生したり, 自分の意見を話したり／書いたりする技能を身に付けている。</li> </ul>	定期試験 単語テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容を簡潔にまとめ, 適切なつなぎ表現を用いて話したり／書いたりしている。</li> <li>・本文に関連したテーマについて, 学習した機能表現を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。</li> <li>・聞き取った内容の概要を捉えるために, キーワードを書きとっている。</li> <li>・聞き取った内容に関連したテーマについて, 事実や自分の考えを整理して, ペアで話し合ったり, 学習した語句や表現を用いて書いたりしている。</li> </ul>	授業時の様子 課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音, 読解, 文法に関する学習事項が直前のレッスンのどこで用いられているかを理解しようとしている。</li> <li>・身近なテーマに関する設定を理解し, ターゲットとなる文法事項を使って質問に答えたり, 自分の意見を表現しようとしている。</li> </ul>	授業時の様子 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業には予習をして参加しましょう。①音声を聞く。②単語を調べておく。③音読をする。（最低でも3回）この基本の3つを徹底すると、授業の理解度アップにつながる。</li> <li>・授業中は声をしっかり出して、音読学習を意識し、リスニング力の向上につなげよう。</li> <li>・定期試験までに各レッスンのワークブックをきちんと仕上げしておくことで、試験に自信を持って臨める。あとからまとめてやろうとせずに、その都度ワークブックを広げる習慣をつけ、わからないと思ったら、遠慮なく授業担当者に質問してほしい。</li> </ul>
---

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
論理・表現 I	2	1	IIコース

教科書名 Vision Quest English Logic and Expression I Advanced ( 啓林館 )

副教材名 Vision Quest 論理・表現 I Advanced WORKBOOK ( 啓林館 )

Vision Quest 総合英語 ( 啓林館 )

### 1 科目目標

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を育成する。

### 2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<b>Lesson1</b> I want to introduce my new friend.  <b>文法</b> 文の種類:さまざまな疑問文や命令文, 感嘆文を適切に作り, それに回答する方法を学習する。また, 単文, 重文, 複文の構成を理解し, まとまりのある文で表現する方法を学習する。	<b>話題</b> 紹介: 初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学習する。 <b>機能</b> 応答する/理由を述べる: 相手の発話に適切な応答をする方法を学習する。また, 多様な表現を用い, 理由を述べる表現を学習する。 <b>表現</b> 話す[発表]: 自分やパートナーのクラブ活動を紹介する方法を身につける。 <b>書く</b> : 学校のルールや好きな科目について, 理由や具体例などを加える方法を学習する。
	5	<b>Lesson2</b> How about joining our group?  <b>文法</b> 文型と動詞: 5つの文型と There is の構文を理解し, 文を組み立てる方法を学習する。また, 注意すべき自動詞と他動詞の使い分けを学習する。	<b>話題</b> 学校生活: 学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して, 学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学習する。 <b>機能</b> 賛成・反対する/聞き直す: 賛成・反対の意思を示したり, 聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする表現を学習する。 <b>表現</b> 話す[やり取り]: 文化祭に行く予定について話し合う表現を身につける。 <b>書く</b> : 日常生活や自分の部屋について, 具体例や情報を挙げて説明する方法を学習する。
		<b>Lesson3</b> I'm planning a day trip this weekend.	<b>話題</b> 旅行・観光: 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学習する。

6	<p><b>文法</b> <b>時制</b>: 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりする表現を学習する。</p> <p>Lesson4 Have you ever tried it before?</p> <p><b>文法</b> <b>完了形</b>: 現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することを身につける。また、共に使える語句を使って、適切に文を作り、表現する方法を学習する。</p>	<p><b>機能</b> <b>激励する・励ます</b> / <b>計画する・予定する</b>: 会話の相手を激励したり、励ましたりすること表現を学習する。また、計画したり、予定したりいることを伝え合う方法を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[発表]</b>: 旅行の経験について詳細に話す方法を身につける。</p> <p><b>書く</b>: 週末にしたことや来月の予定について、具体的に詳細を書いて伝える方法を学習する。</p> <p><b>話題</b> <b>趣味・関心</b>: 趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>経験を尋ねる</b> / <b>初めての経験を述べる</b>: これまでの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたり方法を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>: スポーツや音楽の経験について伝え合う方法を身につける。</p> <p><b>書く</b>: 訪れたことのある場所や初めて経験したことについて、考えや気持ち、具体例を挙げて、伝える表現を学習する。</p>
7	<p>Lesson5 What do you want to do after school?</p> <p><b>文法</b> <b>助動詞</b>: 助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分ける表現を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>将来・進路</b>: 将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>許可を求める・依頼する</b> / <b>義務・必要を表す</b> / <b>回想する・自省する</b>: 会話の相手に許可を求め、依頼する表現を学習する。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省する表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>: 将来の夢について伝え合う表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>: 家のルールや子供の頃のこと、またいつかやりたいことについて、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝える方法を学習する。</p>
<p>【課題・提出物】 ・授業用ノート</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークブック</li> <li>・小テスト</li> </ul>												
	<p>【1学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験）</p> <p>平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>学習内容</th> <th>学習のねらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 学 期</td> <td> <p>Lesson6</p> <p>Did you hear about the new shop?</p> <p><b>文法</b> <b>受動態</b>:受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝える方法を学習する。</p> </td> <td> <p><b>話題</b> <b>日常生活</b>：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び，自分の感情や物事について詳細に表現する方法を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>原因・影響を表す／喜び・驚きを表す</b>：様々な表現を用いて，原因や影響について表現する方法を学習する。また，喜びや驚きの感情を表す表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：自身の買い物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：好きな小説や最近驚いたことについて，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝える方法を学習する。</p> </td> </tr> <tr> <td>9</td> <td> <p>Lesson7</p> <p>I'm happy to have you with us.</p> <p><b>文法</b> <b>不定詞</b>:不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝える方法を学習する。</p> </td> <td> <p><b>話題</b> <b>交流・交際</b>:誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから，感情を表す様々な表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>感謝する／謝罪する／弁解する</b>：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び，会話の相手に感情を適切に伝える表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：受け取った贈り物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：自分の夢，高校生にとって一番大切なこと，日常生活で何かしないように努力していることについて，自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝える方法を学習する。</p> </td> </tr> <tr> <td>10</td> <td> <p>Lesson8</p> <p>What sport do you like playing?</p> </td> <td> <p><b>話題</b> <b>スポーツ・健康</b>:スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり，見学を勧めたりする表現を学習する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	月	学習内容	学習のねらい	2 学 期	<p>Lesson6</p> <p>Did you hear about the new shop?</p> <p><b>文法</b> <b>受動態</b>:受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝える方法を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>日常生活</b>：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び，自分の感情や物事について詳細に表現する方法を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>原因・影響を表す／喜び・驚きを表す</b>：様々な表現を用いて，原因や影響について表現する方法を学習する。また，喜びや驚きの感情を表す表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：自身の買い物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：好きな小説や最近驚いたことについて，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝える方法を学習する。</p>	9	<p>Lesson7</p> <p>I'm happy to have you with us.</p> <p><b>文法</b> <b>不定詞</b>:不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝える方法を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>交流・交際</b>:誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから，感情を表す様々な表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>感謝する／謝罪する／弁解する</b>：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び，会話の相手に感情を適切に伝える表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：受け取った贈り物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：自分の夢，高校生にとって一番大切なこと，日常生活で何かしないように努力していることについて，自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝える方法を学習する。</p>	10	<p>Lesson8</p> <p>What sport do you like playing?</p>	<p><b>話題</b> <b>スポーツ・健康</b>:スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり，見学を勧めたりする表現を学習する。</p>
月	学習内容	学習のねらい											
2 学 期	<p>Lesson6</p> <p>Did you hear about the new shop?</p> <p><b>文法</b> <b>受動態</b>:受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝える方法を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>日常生活</b>：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び，自分の感情や物事について詳細に表現する方法を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>原因・影響を表す／喜び・驚きを表す</b>：様々な表現を用いて，原因や影響について表現する方法を学習する。また，喜びや驚きの感情を表す表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：自身の買い物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：好きな小説や最近驚いたことについて，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝える方法を学習する。</p>											
9	<p>Lesson7</p> <p>I'm happy to have you with us.</p> <p><b>文法</b> <b>不定詞</b>:不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝える方法を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>交流・交際</b>:誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから，感情を表す様々な表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>感謝する／謝罪する／弁解する</b>：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び，会話の相手に感情を適切に伝える表現を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>：受け取った贈り物について詳細に伝える表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>：自分の夢，高校生にとって一番大切なこと，日常生活で何かしないように努力していることについて，自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝える方法を学習する。</p>											
10	<p>Lesson8</p> <p>What sport do you like playing?</p>	<p><b>話題</b> <b>スポーツ・健康</b>:スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり，見学を勧めたりする表現を学習する。</p>											



	<p>2 Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?</p> <p><b>文法</b> <b>比較</b>:比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する方法を学習する。</p>	<p><b>表現</b> <b>話す[発表]</b>:日本の文化や人たちについて紹介する表現を身につける。</p> <p><b>書く</b>:友だちや家族の紹介やあなたが今必要としていること、住みたい場所について、論理の展開を工夫しながら詳細に伝え、意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝える方法を学習する。</p> <p><b>話題</b> <b>国際問題</b>:フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案し、相手の発言を称賛する仕方を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>提案する/称賛する</b>:提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えを学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[やり取り]</b>:国際問題について自分の考えを伝え合う表現方法を身につける。</p> <p><b>書く</b>:本と映画どちらに興味があるか、また最も幸せを感じる時について、自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明する表現方法を学習する。</p>
	<p>3 Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.</p> <p><b>文法</b> <b>仮定法</b>:仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる表現方法を学習する。</p>	<p><b>話題</b> <b>社会問題</b>:日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝え、相手の助言を求める会話表現を学習する。</p> <p><b>機能</b> <b>助言を求める・助言する/願望を表す</b>:助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりする方法を学習する。また、願望を表し表現を使い自分の意志や要望を伝える方法を学習する。</p> <p><b>表現</b> <b>話す[発表]</b>:日本の社会問題について自分の意見を発表する方法を身につける。</p> <p><b>書く</b>:タイムマシンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族の願望について、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝える表現を学習する。</p>

<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬期休業期間中の課題</li> <li>・ ワークブック</li> <li>・ 授業用ノート</li> <li>・ 小テスト</li> </ul>
<p><b>【3学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験素点：80%（期末試験）</p> <p>平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）</p>
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>定期試験素点：80%（5回実施される定期試験素点の平均点）</p> <p>平常点：20%（各学期の平常点の平均点）</p>

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声，語彙・表現，文法を，4技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>左に示す観点及び内容に基づいて学期ごとに評価し，学年末に5段階評価の評定にまとめる。</p> <p>学習に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。</p> <p><b>【評価対象】</b></p> <p>(a) 授業中の活動への取り組み状況</p> <p>(b) ノート・ワーク・課題等の提出物</p> <p>(c) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト</p>
思考・判断・表現	<p>○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	

### 4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<p>授業中の活動を大切に。間違いを恐れずに積極的に授業に参加しましょう。一つの単元が終わるごとにワークブックに取り組むと、知識が定着する。少しでもわからないと感じたら、遠慮なく教科担当に質問してほしい。</p>
--

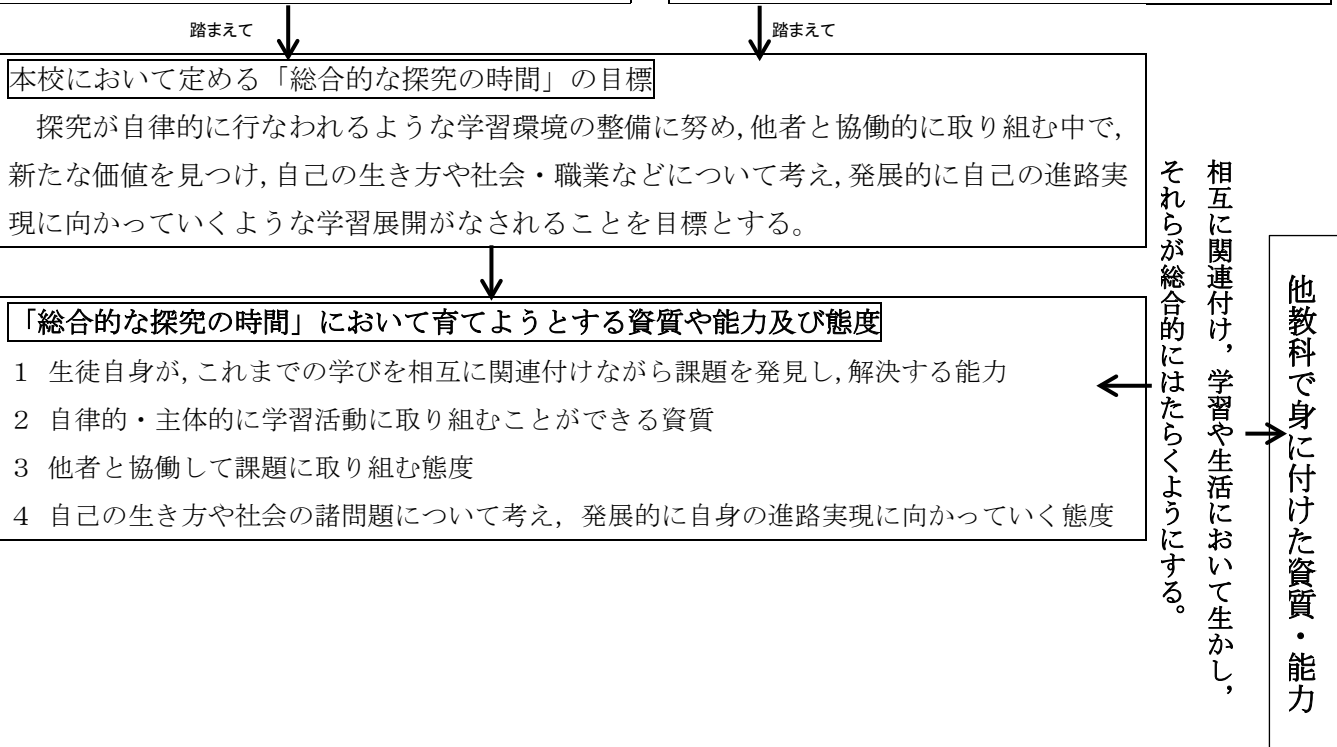


科目	単位数	対象学年	対象クラス
総合的な探究の時間	1	1 学年	全

教材名 「インターン (INTERN)」 (株)教育と探求社  
 NOLTY スコラ探究プログラム「基本編」 (株) NOLTY プランナーズ

1. 科目目標

<p><b>学習指導要領における目標</b></p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>日本大学および 日本大学東北高等学校の教育目標</p> <p><b>『自主創造』</b> 自主的に学び、考え、広く世界的視野を持つ新しい自分、心豊かな自分を創造すること。</p> <p>※日本大学マインド <b>多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力</b> 異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。</p> <p><b>社会に貢献する姿勢</b> 社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。</p>
--	---



2. 学習計画及び評価方法

学期	日	回	教材	学習内容	学習のねらい
1 学期	4/26	1	【INTERN】	オリエンテーション	ワークを通して自分の仕事に対する考えに目を向け将来へのイメージを広げる。
	5/17	2		自分の仕事意識を知る	
	5/31	3		インターンの募集を見る	インターンする企業を決め、アンケート調査を通してその企業や事業についての理解を深める。
	6/7	4		仕事を始める	
	6/14	5		調査結果を報告する	
	6/21	6		課題を確認する	企業が社会に対してどのような価値を生み出しているのか、体験的に主体的に探求する。
2 学期	9/6	7		課題に取り組む	
	9/13	8		プレゼンテーションを行う	
	9/20	9	【INTERN】	合同研修を受ける	活動を振り返り、一人ひとりが「働く」ことについて自分なりに考える。
	10/18	10		最終レポート	
【前期の評価方法】				・活動に臨む意欲と態度 ・ワークブックへの取り組み ・プレゼン資料、発表および聞く態度 ・生徒自身による自己評価	
2 学期	10/25	1	【探究プログラム】	イントロ・興味関心 1	探究とはなにか、なぜ行うかを考える。
	11/8	2		興味関心 2	身の回りのものに目を向け、疑問を見つけ、問いを立てる。
	11/15	3		興味関心 3	
	11/22	4		興味関心 4 ・ 課題設定 1	
	11/29	5		課題設定 2	課題を解決する道筋を立てる。
	12/13	6		情報収集 1	情報収集の方法を学ぶ。
	12/20	7		情報収集 2	情報を収集する。
3 学期	1/17	8		整理分析 1	整理・分析の方法について学ぶ。
	1/31	9		整理分析 2	実際に収集した情報を整理・分析する。
	2/7	10		まとめ表現 1	表現方法について学び、発表の準備をする。
	2/14	11		まとめ表現 2	発表し合い、疑問を気づきを得る。
	2/21	12		振り返り	探究活動を振り返り、次の課題を見つける。
【後期の評価方法】				・活動に臨む意欲と態度 ・ワークブックへの取り組み ・プレゼン資料、発表および聞く態度 ・生徒自身による自己評価	

3-(1) 評価の観点、内容及び評価方法

成果物の出来栄えなど、活動の結果だけを評価するのではなく、過程を評価する。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自ら問いを立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・発表している。	討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価。

<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>	<p>学習や活動の状況などの観察記録による評価。 論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作物による評価。 評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価。</p>
----------------------	--	--

3-(2) 評価基準 (ルーブリック)

	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	努力を要する(C)
<p>知識・技能 知識・技能</p>	<p>必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、既得の知識と関連付けて理解することができる。</p>	<p>必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、ある程度理解することができる。</p>	<p>必要な知識・技能を書籍や資料等から得ることができない。得た知識・技能の理解ができない。</p>
<p>課題を発見する力 思考・判断</p>	<p>自分の興味・関心と社会問題を関連付けて、課題を発見することができる。</p>	<p>自分の興味・関心から、または社会問題から課題を発見することができる。</p>	<p>自分の興味・関心、社会について理解が浅く、課題を発見できない。</p>
<p>課題を解決する力 思考・判断</p>	<p>データや情報を適切に収集し、整理・分析することができる。 筋道を立て、論理的な考えを構築できる。</p>	<p>データや情報を適切に収集し、整理・分析をする努力ができる。 根拠や論理性に欠ける部分はあるが、自分なりの考えを提示できる。</p>	<p>データ・情報を適切に収集・分析することができない。 データ・情報に基づいた考えを思考することができない。</p>
<p>考えを他者に伝えることができる力 表現</p>	<p>論理的に筋道を立て、分かりやすく、工夫のある発表をすることができる。</p>	<p>論理的に筋道を立て、分かりやすく発表しようとする努力ができる。</p>	<p>発表するための準備が不十分である。</p>
<p>自律的・主体的に学習に取り組む力 主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組むことができる。</p>	<p>課題の解決に向けて意欲的に継続して取り組むことができる。</p>	<p>活動に意欲的に取り組むことができない。</p>
<p>他者と協働する力 主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>班員と目標を共有し、価値観や意見の異なる人の意見も尊重し協力して活動できる。</p>	<p>班員と協力して活動できる。</p>	<p>班員と協力する姿勢が見られない。</p>